

① 大下の太子堂

江戸時代の天明期、大洪水、大出水が富塚村を襲った。利根川の側の土手が決壊したため、木造の太子像流れ着いた。元の像の所在地に届けたが、また洪水がおき、川に浮き沈みしている太子像を救い上げ、富塚の木下に太子堂を建て祀ったと伝えられている。



② 十字の墓

富塚の大下のお墓群に明治13年11月5日に洗礼を受けた「神僕イリヤ・・・」と彫られた十字の墓がある。この時代何人かの洗礼を受けた人達がいた。



③ 西輪寺

天台宗の寺院で文禄2年(1593年)の開基とされ、本尊は阿弥陀如来。境内には本堂の他に、太子堂庫裡、門がある。しろい七福神の福祿寿が祀られている。



④ 小金牧資料

江戸時代に牧を管理する牧士を勤めていた川上家には、多数の資料が伝えられ、千葉県指定文化財及び白井市指定文化財に指定されている。原則非公開となっているが、文化財の所在を示す石碑が建っている。

⑥ 鳥見神社

創建の時期は不明だが、慶安3年(1650年)の棟札も残っている。現在の本殿は文化9年(1812年)のものと考えられ、一間社流造、総ケヤキの素木造で、本殿の随所に壮麗な彫刻が施されている。特に庇柱の龍の彫刻は見事である。



⑩ 熊野神社

創建は不詳。祭神はいざなみのみこと伊饒那美命ほかを祀っている。棟札から宝暦3年(1753年)に建てられ、木造の一間社流造で屋根は棧瓦葺。特に庇柱の正面に彫り出されている龍が見事。



⑤ 矢の橋

柏市と境界に架かる小さな橋の名前。昔起こった戦の際、矢が重なって橋のようになり、そこから矢の橋の名がついたという伝承がある。現在は橋はなく、周辺を「矢の橋」と呼んでいる。



⑧ 切られ庚申

宝永3年(1706年)に建てられた三猿庚申塔。背面右側が大きく抉られている。この庚申塔は江戸時代に我孫子から白井を経て松戸へと続いていた「鮮魚道」の脇に建てたもので、抉られた跡は夜中に火の玉に襲われ、刀で切り付けた刃跡といわれている。

トイレ利用出来ます

⑨ 来迎寺

天台宗の寺院で、承久年間(1219年~1220年)の開基とされ、本尊は阿弥陀如来。他に毘沙門天、不動明王、閻魔王、奪衣婆の5軀の仏像がある。



境内には、江戸時代の大火を潜り抜けた市指定天然記念物の火伏の公孫樹としろい七福神の布袋尊がある。

【しろい七福神・菖蒲まつり】
毎年5月上旬、来迎時の境内で太鼓や歌謡ショーが行われ、模擬店も多数出店。
寺前の、有志で整備した菖蒲園の菖蒲も見事。